

平成25年度 事業報告

法人全般

学園全体の取組

教職員の人材育成

■加計学園フィロソフィの浸透

創立者の残された言葉を「加計学園フィロソフィ」として編集し、本学園の精神的バグボーンとしての浸透に努めました。

■FD・SDの推進

「変わる」から「変える」を継続統一テーマとして、FD・SD研修会等を学園全体で開催することで教職員同士の連携を深め、一人ひとりが今の時代に必要な取組は何か気付くきっかけ作りを行いました。

今年度の実施内容

- ・第1回（5月8日）
 - 『認証評価する側から見た大学—大学基準協会における研修を踏まえて』
講師：岡田章弘（大学基準協会派遣修了者）
 - 『エンロールマネジメントの是非』
講師：山口隆久（岡山理科大学教授）
 - 『全国的な傾向と3設置校の状況を概観して』
講師：宮原和志（株式会社KEIアドバンス）
 - 『岡山理科大学2013年度入試総括』
講師：福田尚也（岡山理科大学入試広報部次長）
 - 『入試広報戦略・昨年度の総括と今年度に向けて』
講師：森裕一（岡山理科大学入試広報部長）
 - 『これまでの総括と今後の展望』
講師：波田善夫（岡山理科大学学長）

- ・第2回（7月6・13・20日、8月31日、9月21日）
 - 『経理感覚・経営感覚の大切さ—加計学園フィロソフィより』
講師：渡邊良人（法人本部事務局長）
 - 『学校法人会計と財務諸表および経営・財析』
講師：井内龍男（法人本部事務局長次）
辻本泰己（監査室参事）
- ・第3回（8月7日、27日）
 - 『“プロフェッショナルとは”を考え続け』
講師：飴善晶子（日本航空株式会社 客室本部 客室品質企画部客室教育・訓練室アドバイザーグループ マネージャー）
 - 『企業人の仕事観—建設業の立場から』
講師：蜂谷泰祐氏（岡山西ロータリークラブ 幹事、蜂谷工業株式会社代表取締役社長）
- ・第4回（8月24日）

私学の事務職員が思索し議論する『思いの場』として、先達に接しその精神と経験を知る『学ぶ場』として開塾された『思学塾』が、本学園で開催されることに併せ、これに参加させていただき講話を拝聴し、学園を牽引する役目を担う幹部事務職員および若手職員ひとり一人の担う役目や意識を新たにするため思学塾塾長 川本八郎氏（立命館前理事長）並びに大阪経済大学理事長 勝田久氏に講演を頂きました。
- ・第5回（10月5日）
 - 『教育の大切さについて』
講師：位田隆久（岡山理科大学附属中学校 校長）

・第6回（11月29日）

○『私の立場から見た大学と大学教授—大学が社会的使命を果たすために』

講師：川本八郎（思学塾塾長、立命館前理事長）

・第7回（1月24日）

○ハラスメントのない学園をめざして

講師：木澤克之（木澤法律事務所弁護士）

・第8回（1月11日、25日、2月8日）

○IRの概要と統計処理

講師：柳喜久男（岡山理科大学准教授）

森裕一（岡山理科大学教授）

黒田正博（岡山理科大学准教授）

■進化する自己点検・勤務考課

職員一人ひとりが、業務改善や連携の強化など活力ある組織を目指すべく、各部署・個人ごとに目標を持って取り組みました。

11月8日に配布し、12月20日迄に面談を行いました。

また、教育職員については、各設置校で検討、実施しました。

■私立大学等経常費補助金研修会

今年度は法人本部にて、法人総務課主催の研修会を開催し昨年度から変更された箇所、提出書類の注意事項等説明を行いました。

また、9月12日には、倉敷芸術科学大学において私立大学等経常費補助金の根拠資料の確認を行いました。

ビジョン

■三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を定期的に行い、大学間の連携や運営方針などを話し合い、将来計画の策定やその実現に努めました。

■財務改善会議

各学校の代表者による財務改善会議を8月に開催した。教学と入試広報の両面から各設置校の課題を検討し、財務体制の健全化を図りました。

労務管理

■ワーク・ライフ・バランス

労務時間の管理を徹底し、さらに各部署における業務見直しにより時間内に効率よく仕事を終わらせることで時間外労働の削減を実現しワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図り、健康で豊かな生活のための時間が確保できる組織作りを目指しました。

■改正労働契約法への対応

労働契約法の改正により、学園におけるアルバイト雇用の労働条件通知書及び労働契約書の見直しを行いました。また、有期労働については、引き続き検討します。

■任期制、早期退職制導入

教員を対象とした任期制、教職員を対象とした早期退職制の導入について引き続き検討していきます。

■安全衛生委員会

学園で働く全ての教職員のこころと身体の健康を保ち安全に働くことができる環境を形成するため、これまで学園全体として組織していた衛生委員会を各事業所に設置しました。

■防災訓練

自然災害についての認識を深め、災害に対する備えを充実させるため、防災訓練を実施しました。

防災意識の向上と、危険物等の安全確保に努めるため、岡山理科大学では、6月6日（木）に消火器・屋内消火栓取扱い訓練、倉敷芸術科学大学で

は8月30日(金)、玉野総合医療専門学校は4月11日(木)に地震・火災避難訓練を行いました。



■救命講習

教職員・学生・生徒を対象としたAED講習会を開催しました。理大キャンパス及び千葉科学大学において教職員対象の講習を計5回行い、緊急時に即座に対応出来るよう周知しました。

また、野外調査に行く学生等を対象にした講習も行いました。

■防災対策委員会

学園内の火災や自然災害をはじめ、交通・防犯、危険物災害等に関する重要な事項を審議すると共に、これらの災害の未然防止や減災に取り組み、学生・生徒や教職員の安全確保に努めました。

■交通安全講習会

安全運転に対する基本的な事項を再認識し、運転者一人ひとりが安全について考え、事故防止へ繋げるよう、交通安全講習会を開催しました。

6月12日、25日(理大キャンパス)、6月26日、28日(倉敷芸術科学大学)にて実施しました。

■包括連携協定

11月29日(金)に警察署が被災した場合に警察機能の確保、迅速的確な対応を行うための臨時拠点として、50周年記念館を提供する「災害時における岡山西警察署代替災害警備本部として使用に関する協定書」を岡山西警察署と締結しました。

12月2日(月)に県立総社高校と科学教育の推進やグローバルな人材育成など多分野で協力を進めるための包括連携協定を締結しました。

2月13日(木)に備前市とまちづくりや防災等の人材交流や意見交換を行い、地域振興を図るための包括連携協定を締結しました。

2月25日(火)に岡山市中央卸市場と好適環境水による魚類養殖の推進、施設の総合利用、地域振興に関する催し等での協力を推進するため包括連携協定を締結しました。

ECO事業

■省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的に開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。引き続き今年度も原単位(エネルギー使用量を延床面積で除した数値)の1%削減目標を掲げ、クールビズ、ウォームビズプラスワン等を実施し、また、旧式タイプのエアコンをエコタイプのエアコンに更新、廊下・階段等の証明をLEDに交換、トイレ等に人感センサー照明の設置等省エネ対策を実施し、節電に努めました。

■環境美化の推進

平成25年度より、岡山理科大学・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校・岡山理科大学専門学校がある理大町キャンパスをはじめ各設置校の環境美化(緑化計画)を推進します。

第一段階として、理大キャンパス、御津、ヘルスピア倉敷に様々な品種の桜を植樹しました。

学園オリジナル

■学園クッキーの作成

加計学園をPRする学園クッキーを作成しました。株式会社SID創研にて販売し、企業訪問、高校訪問、イベント等において利用していきます。

NEXT100周年

■御影インターナショナルこども園

神戸市東灘区御影に0歳から未就学の子供を対象とした「御影インターナショナルこども園」を平成26年4月1日に開園しました。

■寄付金事業

平成26年度に岡山理科大学は創立50周年、千葉科学大学は創立10周年を迎えます。また、平成27年度には倉敷芸術科学大学が創立20周年を迎えます。その記念事業を行うにあたり広く寄付金の募集を行っています。

■加計勉基金の創設

創立50周年記念加計勉基金の創設について検討を継続しています。

国際交流関係

■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在、国際19カ国70校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

なお、既に四半世紀継続しているアメリカ、ブラジル学生研修団に対して岡山での最終日に行われるフェアウェルパーティーは、岡山理科大学スカイテラスにて開催。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上が参加し、中国、韓国、スリランカ、ネパール、ベトナムなどの国際屋台も出店しました。

■第三回加計学園杯日本語弁論国際大会

第三回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区

予選を7～10月に8カ国計12会場にて開催しました。これら予選で選抜された12名の出場者による決勝大会を11月15日(金)に岡山理科大学にて開催し、出場者は「私の夢」について、熱弁しました。

■第四回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を11月2日(土)に開催し、中国、韓国、スリランカ、マレーシアなどの国々の留学生が出場し、スピーチを行いました。

■海外支局長会議

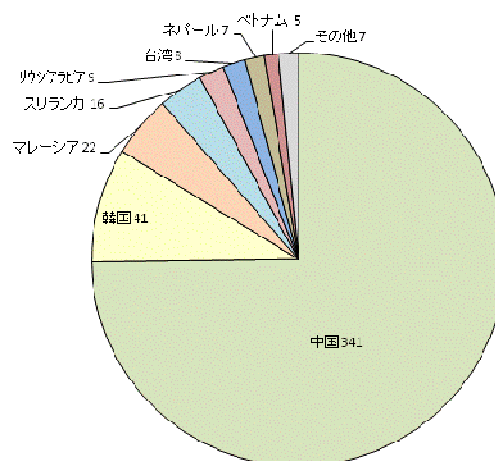
春期は4月7日、秋期は11月14日の2回開催しました。春期は入学式に参加し、秋期は勉強会・報告会を開催、留学生弁論大会に参加するなど、海外支局長同士の連携を深めました。本年より、新たに3名の海外支局長(ベトナム・ホーチミン兼オーストラリア、オーストラリア支局補佐、中国・南京)が着任しました。

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	実行
アメリカ	受入:ライト大学仕事体験生 4名(岡山理科大学) 受入:フィンドリー大学仕事 体験生2名(千葉科学 大学)	4~3月
韓国	受入:湖西大学単位互換履修 生4名(岡山理科大学 2名、倉敷芸術科学大 学2名)	4~3月
台湾	受入:致理技術学院科目等履 修生8名(岡山理科大 4名・倉敷芸術科学大 学4名)	4~2月
アメリカ	受入:フィンドリー大学学生 訪日研修団7名 受入:ライト大学学生訪日研 修団11名	6.24~ 7.17
ブラジル	受入:パラ連邦大学3名・ パラナトカ大学10名 訪日研修団	6.24~ 7.17
韓国	受入:慶一学園生徒研修団 計29名	7.15~ 7.20
韓国	受入:木洞高校学生研修団 計35名	7.24~ 7.29
中国	受入:北京城市学院学生研修 団 計15名	7.27~ 8.5
韓国	受入:江南スカイ学院学生研 修団 計12名	7.29~ 8.5
ブラジル	派遣:パラ連邦大学・パラカ トカ大学へ学生研修団 三大学 計9名	8.13~ 9.7
アメリカ	派遣:フィンドリー大学へ学 生研修団三大学計7名	8.13~ 9.7
アメリカ	派遣:ライト大学へ学生研修 団三大学 計10名	8.13~ 9.7
イギリス	派遣:サンダーランド大学へ 学生研修団(派遣なし)	8.13~ 9.3
台湾	派遣:致理技術学院へ学生研 修団(派遣なし)	8.26~ 9.4
中国	受入:東北師範大学人文学院 短期(単位互換)留学生 1名	4月~ 8月
モンゴ ル国	受入:モンゴル国アカデミー 古生物研究センター 計2名来学、調印式	10.21 ~ 10.23
フィリ ピン	受入:フィリピン日本語文化 学院校長計1名来学、 調印式	11.15 ~16
韓国	受入:全南女子商業高校学生 研修団計19名	1.21~ 22
韓国	受入:正明高校学生研修団 計33名	2.19~ 24

■国別留学生内訳

(平成25年5月1日現在)



総数: 456 (単位: 人)

■海外協定校

(平成26年3月31日現在)

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院	13校
	(留学生募集に関する提携校) 内蒙古智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林動画学院 他	(23校)
韓国	慶一学園、金剛学園(永同大学、亨硯高校)、鶴山学園(東ソウル大学)、金龍学園(徳園女子高校、徳園芸術高校)、桂林学園(正明高校)、清錫学園(清州大学)、純心教育財団(純心高校)、湖西学園(湖西大学)、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バリーカウィッダチャーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	2校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校、フィリピン日本語文化学院	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
モンゴール	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター	1校

人事

4月1日、加計学園東京事務所は、田町から竹橋にあるパレスサイドビルに移転しました。

組織

■加計学園理事・監事評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	2	9
監事	2		2	2
評議員	23～32	28	4	32

(平成25年5月1日現在)

■役員について

5月31日 江草玄士監事退任

6月1日 木澤克之監事就任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に、神崎栄一郎就任
- 昭和39年1月 岡山理科大学設置認可
- 2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に、加計勉就任
- 昭和42年4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として、中尾寿夫就任
- 昭和50年4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制）初代校長に、中尾寿夫就任
- 昭和51年4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和55年4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として、片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に、加計勉就任
- 昭和59年4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任

- 昭和 61 年 4 月 岡山理科大学工学部設置
岡山理科大学附属高等学校第 5 代校長として、三宅寛就任
岡山高等建築専門学校を**岡山理科大学専門学校**と改称
- 平成 2 年 4 月 岡山理科大学第 4 代学長に、加計勉就任
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4 年 1 月 岡山理科大学附属高等学校第 6 代校長として、加計晃太郎就任
4 月 岡山理科大学附属高等学校第 7 代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6 年 12 月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に、谷口澄夫就任
- 平成 7 年 4 月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9 年 4 月 岡山理科大学総合情報学部を増設
12 月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成 10 年 4 月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に、金政泰弘就任
岡山理科大学附属高等学校第 8 代校長に、三木輝知就任
岡山理科大学専門学校第 3 代校長に、村上侑就任
- 平成 11 年 4 月 倉敷芸術科学大学第 2 代学長に、土井章就任
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成 12 年 4 月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成 13 年 1 月 学校法人加計学園第 2 代理事長・総長に、加計晃太郎就任
4 月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に名称変更
岡山理科大学第 5 代学長として、山村泰道就任
9 月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成 14 年 4 月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第 9 代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第 4 代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成 15 年 4 月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
11 月 千葉科学大学設置認可
- 平成 16 年 3 月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
4 月 岡山理科大学第 6 代学長に、宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に、平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に、岡本繁通就任
- 平成 17 年 4 月 倉敷芸術科学大学第 3 代学長に、添田喬就任
岡山理科大学附属高等学校第 10 代校長に、橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第 2 代校長に、新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第 5 代校長に、圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第 2 代校長に、岡田茂就任

- 平成 19 年 4 月 倉敷芸術科学大学専門学校第 2 代校長に、伊藤敏夫就任
- 平成 20 年 4 月 岡山理科大学第 7 代学長に、波田善夫就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科を設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成 21 年 4 月 岡山理科大学専門学校第 6 代校長に、小林正文就任
- 平成 22 年 3 月 倉敷芸術科学大学国際教養学部を廃止
- 平成 22 年 4 月 千葉科学大学第 2 代学長に、赤木靖春就任
玉野総合医療専門学校第 3 代校長に、高井研一就任
倉敷 食と器 専門学校第 3 代校長に、川上雅之就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
- 平成 23 年 4 月 倉敷 食と器 専門学校第 4 代校長に、亀井秀人就任
10 月 倉敷芸術科学大学第 4 代学長に、唐木英明就任
- 平成 24 年 4 月 岡山理科大学附属高等学校第 1 1 代校長に、宮垣嘉也就任
岡山理科大学附属中学校第 3 代校長に、位田隆久就任
岡山理科大学専門学校第 7 代校長に、村岡正就任
岡山理科大学生物地球学部設置
倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置
千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6 年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4 年制一貫）を設置
- 平成 24 年 7 月 千葉科学大学大学院薬学研究科について、薬学科（4 年制）を基礎とした薬学専攻修士課程を廃止
- 平成 25 年 3 月 倉敷 食と器 専門学校閉校
- 平成 25 年 4 月 岡山理科大学総合情報学部コンピュータシミュレーション学科及び大学院総合情報研究科シミュレーション科学専攻を廃止
千葉科学大学危機管理学部環境安全システム学科を廃止
10 月 倉敷芸術科学大学芸術学部美術学科を廃止
12 月 千葉科学大学看護学部設置認可
- 平成 26 年 3 月 収益事業開始認可
千葉科学大学危機管理学部防災システム学科を廃止
岡山理科大学専門学校文化・教養一般課程を廃止

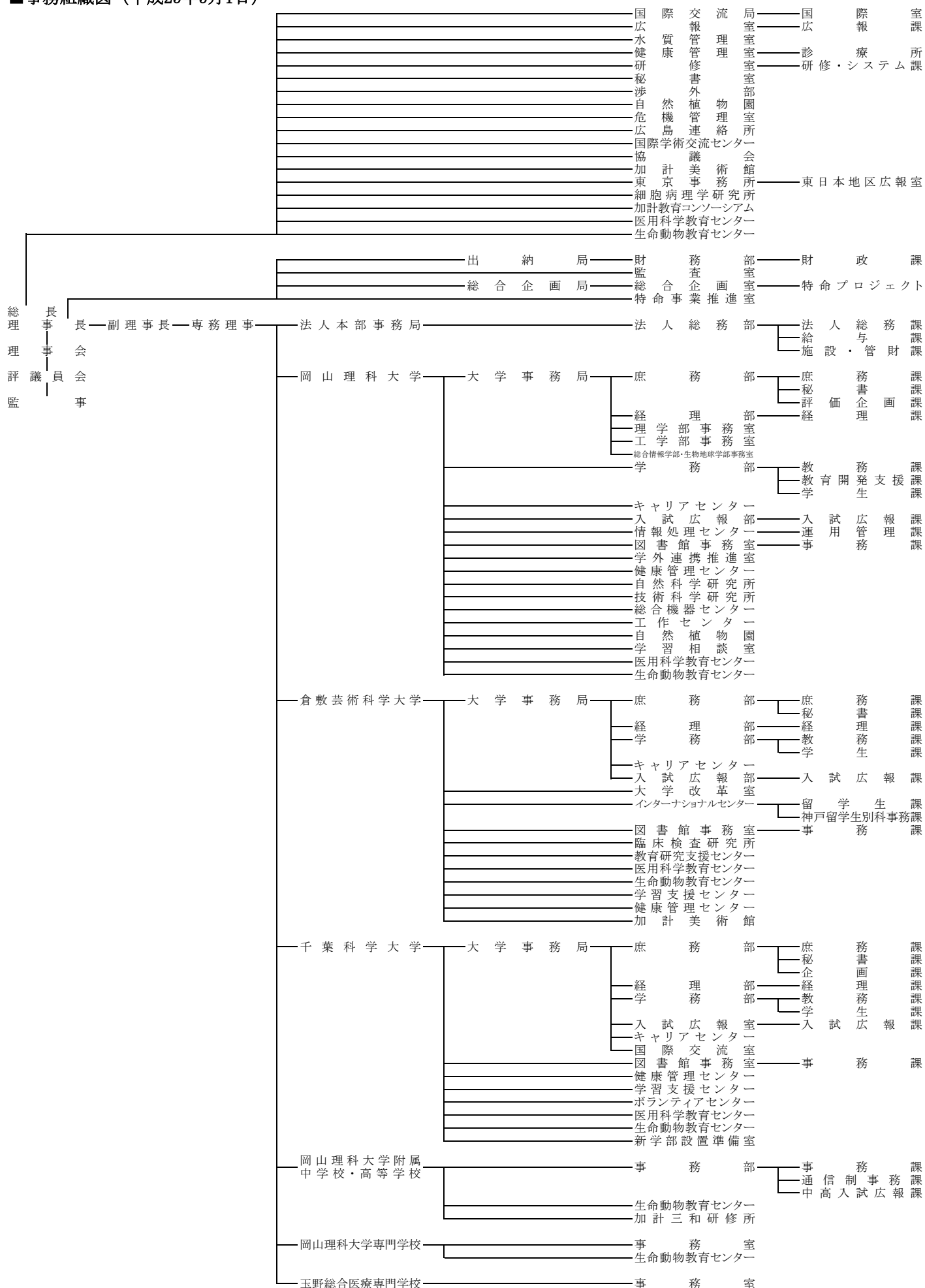
■設置校概況

平成25年5月1日現在

区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,459	6,051	270	197	467
大学院	384	203		(本部) 84 (理大) 113	
理学研究科	191	108			
工学研究科	147	68			
総合情報研究科	46	27			
学部	5,075	5,848			
理 学 部	2,075	2,475			
工 学 部	1,940	2,171			
総合情報学部	860	961			
生物地球学部	200	241			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,017	1,643	113	64	177
大学院	126	54			
芸術研究科	52	25			
産業科学技術研究科	44	20			
人間文化研究科	30	9			
学部	1,771	1,579			
芸術学部	412	382			
産業科学技術学部	404	245			
生命科学部	955	952			
大学院 (通信制)	120	8			
芸術研究科	20	2			
産業科学技術研究科	40	0			
人間文化研究科	60	6			
学部 (通信教育課程)		2			
産業科学技術学部	(募集停止)	2			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,280	1,738	104	56	160
大学院	60	26			
薬科学研究科	41	14			
危機管理学研究科	19	12			
学部	2,220	1,712			
薬学部	1,020	717			
危機管理学部	1,200	995			
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1-1)	2,100	1,489	76	21	97
全日制	1,500	1,231			
通信制(1~3年定員:600名)	600	258			
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1-1)	240	175	19		19
岡山理科大学専門学校 (岡山市北区半田町8-3)	490	409	13	12	25
工業専門課程(建築)	120	88			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, ドッグ, フット)	370	321			
文化・教養一般課程(トリミング, ドッグ, フット)	0	0			
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	560	476	29	8	37
医療専門課程(保健看護, 理学療法, 作業療法)	480	435			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	41			
合 計	13,146	11,981	624	358	982

※別科、専攻科等除く

■事務組織図（平成25年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,630,968,156
手数料収入	285,873,690
寄付金収入	76,086,308
補助金収入	2,245,429,813
資産運用収入	158,383,685
資産売却収入	3,161,300
事業収入	125,445,140
雑収入	841,686,103
借入金等収入	400,610,000
前受金収入	2,412,062,800
その他の収入	1,468,410,450
資金収入調整勘定	△ 3,354,988,878
前年度繰越支払資金	21,422,175,098
計	41,715,303,665

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,579,999,621
教育研究経費支出	3,899,974,759
管理経費支出	1,355,750,722
借入金等利息支出	114,630,577
借入金等返済支出	1,039,697,300
施設関係支出	2,190,284,947
設備関係支出	674,170,106
資産運用支出	338,038,000
その他の支出	1,655,417,470
資金支出調整勘定	△ 1,159,346,845
次年度繰越支払資金	20,026,687,008
計	41,715,303,665

■消費収支計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,630,968,156
手数料	285,873,690
寄付金	104,838,137
補助金	2,245,429,813
資産運用収入	158,383,685
資産売却差額	999,999
事業収入	118,955,788
雑収入	841,686,103
帰属収入合計	19,387,135,371
基本金組入額合計	△ 861,222,473
消費収入の部合計	18,525,912,898

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,579,999,621
教育研究経費	5,676,237,897
管理経費	1,850,062,384
借入金等利息	114,630,577
資産処分差額	265,423,834
徴収不能引当金繰入額等	13,596,513
消費支出の部合計	19,499,950,826
当年度消費支出超過額	974,037,928
前年度繰越消費支出超過額	13,904,340,953
翌年度繰越消費支出超過額	14,878,378,881

■貸借対照表（平成26年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	59,387,876,919
有形固定資産	54,159,324,297
その他の固定資産	5,228,552,622
流動資産	22,071,550,273
資産の部合計	81,459,427,192

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	11,533,298,209
流動負債	4,658,975,838
負債の部合計	16,192,274,047

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	80,105,532,026

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 14,878,378,881
消費収支差額の部合計	△ 14,878,378,881
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	81,419,427,192

■財産目録（平成26年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一資産額	
(一) 基本財産	58,845,562,349
1. 土地	15,846,276,024
借地権	459,340,000
2. 建物	26,425,857,318
(1)校舎	20,684,765,212
(2)図書館	354,259,039
(3)体育館	2,324,677,991
(4)寄宿舎	383,404,172
(5)倉庫	20,738,172
(6)その他	2,658,012,732
3. 建設仮勘定	431,473,906
4. 構築物	1,310,886,943
5. 図書	6,723,869,703
6. 教具・校具・備品	3,384,119,841
7. 車両運搬具	36,840,562
8. 積立金	2,026,898,052
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	22,613,864,843
1. 預金、現金	20,286,687,008
2. 出資金	94,859,400
3. 有価証券	960,629,833
4. 未収金	1,006,516,148
5. 仮払金	7,240,467
6. 差入保証金	187,455,170
7. 前払金	68,696,361
8. 貯蔵品	1,780,456
合 計	81,459,427,192
二負債額	
1. 固定負債	11,533,298,209
(1)長期借入金	7,678,427,000
(2)学校債	3,290,000
(3)退職給与引当金	3,851,581,209
2. 流動負債	4,658,975,838
(1)短期借入金	525,960,000
(2)学校債	3,580,000
(3)未払金	1,082,485,362
(4)前受金	2,412,062,800
(5)預り金	618,709,788
(6)仮受金	16,177,888
合 計	16,192,274,047

■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△11.2%	△15.9%	△17.0%	△18.3%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	87.5%	88.5%	89.8%	89.8%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	90.7%	92.6%	89.7%	91.0%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	77.3%	76.9%	75.6%	77.4%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	564.5%	491.0%	542.8%	473.7%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	863.1%	907.1%	917.2%	830.3%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	18.8%	21.6%	20.1%	19.9%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	15.9%	18.8%	17.3%	24.8%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	76.9%	73.6%	74.0%	73.1%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	60.5%	71.4%	58.2%	59.7%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	31.5%	30.4%	28.8%	29.3%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.3%	10.0%	8.6%	9.5%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	102.6%	113.3%	96.6%	100.6%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	127.3%	145.5%	120.6%	124.8%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	80.7%	77.9%	80.1%	80.6%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.7%	1.8%	0.4%	0.5%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	14.0%	14.5%	13.5%	11.6%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.2%	6.2%	7.4%	4.4%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	856,048	13,440	12,000	39,633	1,455	922,576
倉敷芸術科学大学	416,667	51,765	11,890	8,139	4,054	492,515
千葉科学大学	315,983	17,700	13,662	708	141	348,194
岡山理科大学附属高等学校				18,881	364,563	383,444
岡山理科大学附属中学校					61,601	61,601
岡山理科大学専門学校					181	181
玉野総合医療専門学校					27,602	27,602
倉敷食と器専門学校					0	0
合計	1,588,698	82,905	37,552	67,361	459,597	2,236,113

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	32 件	25 件	52 件	92,097 千円
理学部	14	5	21	32,097
工学部	12	16	19	38,090
総合情報学部		2	4	7,930
生物地球学部	6	1	5	11,050
附属施設		1	1	1,820
その他			2	1,110
倉敷芸術科学大学	6	5	6	48,763
芸術学部		2	2	6,197
産業科学技術学部	3	3	1	15,300
生命科学部	3		3	27,266
千葉科学大学	11	5	13	54,518
薬学部	9	2	9	19,110
危機管理学部	2	3	4	35,408
合計	49	35	71	195,378